

周防大島町の話題



▲カプセルに入るシーグラスアートなど



▲設置式に参加した皆さん

赤い羽根ガチャガチャ設置

9月30日、道の駅サザンセトとうわで「赤い羽根ガチャガチャ」の設置式が開催されました。

山口県共同募金会では、令和3年からガチャガチャを利用し寄附をする「赤い羽根ガチャガチャ募金」を実施しており、この度、周防大島町ではなぎさ水族館に続き、道の駅サザンセトとうわと地家室園地拠点施設の2カ所に設置されました。

このガチャガチャは、東和小学校が設置するもので、カプセルには6年生の児童が周防大島町の海や山の地域資源を活用して開発した品（シーグラスアート等）が入っており、1回200円でそのうち150円が赤い羽根共同募金への寄附となります。

小さな手で大きな収穫

10月2日、中保育園の園児と保護者、J A山口県周防大島統括本部の職員や女性部の皆さん約25人で稲刈りを行いました。

これはJ Aの女性部の皆さんが中心となって行っている活動で、6月5日に田植えを行い、大きく育った稲を収穫しました。今年初めて収穫に参加した園児もあり、女性部の皆さんなどの指導の下、一緒に収穫しました。園児たちは自分たちの背丈ほどまで育った稲を担いで満面の笑みを浮かべていました。



▲収穫を行った園児や保護者、J A職員・女性部の皆さん



▲協力して避難所の設営を行う参加者の皆さん

▲テントに簡易ベッドを設置した様子

もしもの時に備えて

10月3日、大島中学校で地域の人たちを交えた合同防災訓練が実施されました。

これは大島中学校が災害発生時における命を守る活動や支援のあり方を学ぶことを通して、当事者意識をもって安心安全な町づくりに貢献しようとする態度を育む目的で実施し、地域住民へも参加を呼びかけ、当日は生徒や保護者、地域住民など約160人が参加しました。

当日は体育館を避難所と想定し、テントや簡易ベッド、仮設トイレなどを実際に一から組み立てたり、また地震が発生した想定で避難行動を行うなど、もしもの時に落ち着いて迅速な行動がとれるよう、貴重な体験ができました。